



マンスリーレポート report

report

■2007年3月のマンスリーNEWS

■コラム

■春の冷温切り替えのお知らせ

今年は寒い冬が来ないまま春に突入したようです。さていよいよ我々飲料業界は春商戦に入っていくわけですが、この時期の自販機の冷温の切り替えのタイミングは非常に難しいです。

当社としては以下の様に切り替えを進めてまいります。お客様の自販機において、冷温切り替えのタイミングがベストな状態でいけるといいのですが、若干タイミングが早かったり遅かったりするかもしれませんが、ご了承ください。

1箇所残した切り替え（ホットコラムが4～5品の状態になるということ）が以下の割合で進められていきます。

2/21～3/20 アークル全台数の 50%

3/21～4/10 アークル全台数の 80%

～4/30 アークル全台数の100%



DYDO1箇所HOT



サントリー1箇所HOT

■飲料市況・暖冬の恩恵?

ある証券会社から飲料業界の市況報告レポートが送られてきました。

それによると、今年の冬は平年より2度ほど高めの記録的な暖冬だった1月の飲料業界の販売数は5%増。業界2位以下の主要各社が二桁増を確保する中で、最大手のコカコーラボトラーは業界平均並をやや下回って着地した。清涼飲料総需要の成長が鈍化し、首位メーカーがマーケットシェアを落とす従来の傾向に、まだ明確な変化の兆しは見られない。

そのような中で、2位のサントリーは垂直立ち上げに成功した新商品をメガ・ブランド化し、安定的な基盤を強化している。首位の低迷はビール系飲料メーカーにとって追い風である。キリンビバレッジとアサヒ飲料は販売規模を着実に拡大してきたが、ブランドのメガ化の成否がより問われる1年になるだろう。緑茶市場の成長が鈍化する中で、野菜飲料が好調な伊藤園は業界平均を上回る成長を続けるチャンスは残っていると考える。ただ、長期的な観点に立てば品揃えの点が不利に働こう。

サントリーのメガブランドって黒ウーロンのことです。矢継ぎ早に特保商品で「胡麻麦茶」を出してきました。

特保は認可を受けるまで3~5年はかかるそうです。つまり今回のブランドはかなり前から検討されていたということです。

価格競争の中、このような高価格で売れる商材はメーカーにとって大きな追い風です。飲料業界はサントリー・コカ・コーラの2強時代に突入したようです。

■コラム

■サントリー新商品情報

BOSS楽園		百年茶	
	<p>サントリー入社2年目の女性社員デザインのコーヒー。</p> <p>日々のストレスの中で疲れきった社会人が一瞬仕事を忘れて、つかの間の癒しと解放感が味わえるリラックス系逃避コーヒーをコンセプトに作られた。</p> <p>中味はグアテマラ、コロンビアを中心にブレンド。ラムフレーバーの陶酔感のある香り。エスプレッソ製法による余韻の広がる香りだそうです。</p>		<p>岩手県一ノ関市にある「精茶百年本舗」の力を借り、共同開発したブレンド茶です。</p> <p>和漢24種の素材を使ったブレンド茶で、少し漢方の臭いがしますが、とても飲みやすいです。</p> <p>CMを得意とするサントリー。この商品のCMもかなり面白いものに仕上がっています。</p>

ペプシNEX		ビンゴ・ボンゴ レッドグレープ&カシス	
	<p>今年のペプシの課題はどんな</p>		



商品か印象に残りづらかったということを反省点に、今回はタレント（福山雅治・妻夫木聡・江尻エリカ）を起用し、どんな商品か印象に残るように商品特徴を伝えていく。

色は今までタブーだった黒を使いインパクトのあるデザインになった。



若者をターゲットにし商材。

インパクトのあるデザインでヒットを狙う。

なっちゃん温州みかん



なっちゃんのリニューアル。

ただ、温州みかんとして280缶では目先を変えただけと思うのは私だけでしょうか？

リプトンアップルティー



特に自販機チャンネルで要望が多かった。

アップルティーがサントリーからやっとなります。

コールド販売ですので、味は甘さ控えめのすっきりした感じでした。

■コラム

■限定公開

公開日が限定されているアート2つを見てきました。一つはMOA美術館、尾形光琳作「紅白梅図屏風」ともう一つは箱根 早雲寺の竜虎図で有名な本堂の襖絵です。

MOA美術館の「紅白梅図屏風」は1/27～3/5までの公開でした。（毎年梅の季節に公開されます。）、箱根早雲寺の公開は2/10～12の3日間だけでした。今回のこの2つをレポートします。

まず、「紅白梅図屏風」から。実はこの絵は大変有名でよく目にしますが、大変謎めいた意味を持っていたり、メッセージを持っていたりするのをご存知でしたか？（ネットでいろいろ調べてみました。）

まず、この絵をよく見てください。中央の川を挟んで左側に老木の白梅が、右側に若木の紅梅が描かれています。



一般的な解釈では、七夕の彦星（白梅）と織姫（紅梅）が天の川を挟んで出会っているという説です。

しかし、彦星が老木であるのは不自然です。また別の解釈は光琳が生まれ育った京都の街に同様な配置で実際に植わっていた梅と川を写実したという説です。

これは余りにもつまりません。中央の川の図案化も不自然ですし、光琳の折角の金箔だまし（*）という遊び心が活かされていません。

では、本当のところ光琳は何を「目的とねらい」にしていたのでしょうか？

秘密を解くヒントは二つあります。一つ目は白梅が男性を紅梅が女性をイメージしていること。

（*）金箔だまし：「紅白梅図屏風」の背景は今まで金箔と銀箔と見られていました。しかし実は金箔も銀箔も使用されていないことが判明したのです。いかにも金箔が貼られているように見えていたにもかかわらず、それは光琳の「だまし」の技法であったのです。

そして二つ目は曼荼羅にあります。マンダラは仏教の中でも真言密教によく登場する絵図です。

曼荼羅には方位が決められています。本堂で北を正面にして座るとき、左（西）側に金剛界を敷き、右（東）側に胎蔵界を敷くのが元々の配置でした。

それが東西両側に立て掛けるようになり、都合で並べて掛ける場合は向かって左に金剛界、右に胎蔵界がくるようになったのです。従って光琳が左側に白梅（男性）を、右側に紅梅（女性）を配置したのは仏教の伝統から見ると、ごく当然のことなのです。

さらに推理を働かしてよく見ると・・・



金剛界曼荼羅

胎蔵界曼荼羅

左側の白梅は老木といえども男性的な力強さが描かれており、花も満開です。それに対する右側の紅梅はしなやかな若木です。

実は光琳がこの絵を描いたのは最晩年（56歳）で亡くなる数年前の時期です。当時の年齢で考えると確かに老年です。老木に光琳自身を託していると考えてよいでしょう。木の根元と枝先のみで中心部分が隠されているのはそれを暗示しているのではないのでしょうか？すると、しなやかな紅梅は若い女性が象徴されていると見て取れるのです。光琳はまだまだ若くありたいと願望しているのです。

そして中央に流れる渦巻きを描きながら流れている「川」の両側のラインに注目してください。実はこのラインこそ女性のボディラインに他ならないのです。女性を側面から描いています。右側のラインは背中からヒップラインまで、左側のラインはバストからおへそあたりまでの線が見て取れます。

さらに、「光琳水」と呼ばれている「川」の中の渦巻きの丸みにも注目してください。たしかに水の流れは渦を巻いていますが、それだけに留まる解釈ではつまりません。この構図の中でこそ描かれている

謎に迫らねばなりません。たぶん光琳は女性特有の「丸み」でもってボディラインの中身も埋め尽くそうとしたのではないのでしょうか？しかも黒系統を使用しているのは女性美と神秘性を象徴したかったのではないかと思われます。

こんなエピソードの「紅白梅林図屏風」見れるのは、又来年の梅の季節になります。
見に行かれると面白いと思います。

さて次に箱根早雲寺の襖絵です。実は現在放映中のNHKの「風林火山」の終わりのその日放映した内容に関わりの深い名所・旧跡を紹介が紹介されます。2/11の放映分はちょうどこの早雲寺の紹介でした。早雲寺は北條早雲の遺言によって、嫡男・氏綱が大永元年（1521）に建立し、小田原北條氏の菩提寺として栄え、大徳寺関東龍泉派の古刹として広く知られていました。



目がないのは、本物が出ないようにと

3代・氏康、4代・氏政によって護られてきた早雲寺の境内は湯本全体に及んでいたといわれ、本堂をはじめ十数におよぶ塔頭（たちちゅう）（子院）や僧侶のための寮舎が立ち並び、関東随一の大寺院として栄えていました。

しかし、天正18年（1590）、豊臣秀吉の小田原攻めによって北條氏は滅亡。秀吉の本陣として使われた早雲寺は、秀吉が石垣山一夜城に移るときに火を放たれ、栄華の幕を閉じました。

その後、寛永4年（1627）6月19日、早雲寺の遺宝を密かに隠して再興の時機をうかがっていた菊徑（きくけい）和尚によって再建された早雲寺は、箱根を代表する古刹（*こさつ）として新たな歴史を刻んでいます。

境内には、北條五代の墓碑、北條幻庵の作と伝えられる枯山水石庭、旅の途中で湯本で生涯を閉じた連歌師・飯尾宗祇（いいおそうぎ）の墓（供養塔）、秀吉の逆鱗に触れてこの境内で惨殺された山上宗二（やまのうえの そうじ）（茶聖・千利休の高弟）の追善碑などがあります。

また、江戸時代初期に狩野（かのう）派の絵師の手によると伝えられる38面の襖絵には、竜虎や水鳥が生き生きと描かれています。



鐘楼

秀吉公が一夜城で使ったと言われる鐘珍しい茅葺屋根～。



早雲寺



今にも出てきそう！大胆で生き生き描かれている竜の絵。



北條五代の墓碑



山水画・傷みが激しい

小田原在住の私は、初めての訪問でした。小田原の歴史に触れた一時でした。

■コラム

■中野裕弓(ひろみ)さん講演会聞いて来ました。

先月号でお伝えした通り、中野さんの講演を聞いて来ました。

プロフィール

小田原在住の中野裕弓(ひろみ)さんは「世界がもし100人の村だったら」の原文の訳者で注目されています。

世界銀行本部で人事マネージャーとして職場に人間関係、効率的な組織作り、チームワーク、キャリアプランニング等の

アドバイスにあたり、1998年に帰国して以来全国各地で講演活動やコミュニケーション研修を実施されている方です。

今回は、私の息子が通う小学校のPTA主催の講演会です。テーマは「子供の可能性を伸ばすコミュニケーション」です。コミュニケーションというテーマは今、講演ではとても人気があるテーマだそうです。なぜなら企業内のカウンセリングをしていると、ストレスが非常に多くそのストレスの80%は人間関係によるストレスだそうで、それを解決するのはコミュニケーションスキルの向上ということになるそうです。

コミュニケーションスキルが上手になれば「可能性を伸ばすことができる」「幸せをつかむことができる」「思いを実現することができる」とこんなに素晴らしいことができるようになるのに、学校では一切教えてくれない。この大切さをせつに語り始めました。

○問いかけること・質問力

コミュニケーションの大切なことは質問することです。コミュニケーションの上手な人は決しておしゃべりな人ではありません。コミュニケーションの上手な人は「心のキャッチボールができる人」で相手に自分を理解してもらおうということより、相手を理解しようとするのが先です。そうすると、必然に質問が多くなるわけです。このとき大切なのは、相手からどんな答えが帰ってきてもOKというように、心をオープンにして、ニコニコして待つというのが大切だそうで、自分の期待した答えが返ってこなくて、逆に詰問調になったり、質問倒しをして自分の主張を押し付けたりしてはならないということ。

例えば、子供に対して我々は自分の価値観を押し付けてないでしょうか？子供は親や先生から何か言われたときなぜしゃべらないのか？それは大人の価値観を押し付けているからで、「あの子と遊んじゃダメ」とか「この本は読んじゃダメ」とか言っていないでしょうか？質問するときも声の抑揚を押し付けるようなきつい抑揚でしてないでしょうか？

中野さんは子供達に会うと必ず同じ質問をするそうです。「ねえ、〇〇ちゃん。大きくなったら何になりたい？」するとその答えに対して滔々(とうとう)と答えてくれる子供達の少ないことに驚くそうです。その子供の近くに親がいると、親が答え始めるそうです。親は助っ人のつもりかもしれませんが、大きなお世話です。今、子供達の中でこの5つの言葉さえあれば日常生活が出来るという言葉があります。それは「はい」「いいえ」「わかんない」「別に」「微妙」だそうです。そういう世の中ってちょっと怖くないでしょうか？こんな子供達で「将来夢を実現する力」があるのでしょうか？

中野さんの長い海外経験の中で、西洋文化と日本の東洋文化の大きな違いがあると言います。西洋は

「しゃべってナンボ」、東洋は「思い」だそうで、西洋は人の言ったことを正確に汲み取ろうとする力が強く、東洋は人の情感や表情を読む力がとても強いそうです。日本人同士だと10の事を5言えば通じますが、多国籍の場合10の事を12ぐらい言わないとダメだそうで、今後世界の人々と遊んだりコミュニケーションをとる場合注意しなければならない点です。

○闘わないコミュニケーション

中野さんは全国講演に歩いていますが、あるとき「人生を幸せに生きるには」という講演をした時のことです。ある人が中野さんに「人生は楽しいだけじゃダメなんじゃないですか。」と言ってこられた方がいました。明らかに言葉の裏は反論です。こういうときどうしたらいいでしょう。その反論に対してまた反論すると、闘いになります。中野さんはこうしたそうです。「そ～ですよ。人生楽しいだけじゃあとは大変かもね。」反論を待っていたこの人は拍子抜けです。そのあと「でもね、私は子供達に楽しく生きている大人のサンプルを見せたいんですよ。」って言いました。

つまり闘わないコミュニケーションのヒントは「相手の言っていることはどんなことでも一度受け入れるということ」です。ともすれば、我々は自分の主張を相手の主張を貶める（おとしめる）ことで通そうとすることが、ままあります。

○幸せに生きるってこと

今年の夏、中野さんは全国の現役高校生に「小田原3日間人間力セミナー」を企画しました。場所は報徳記念館です。このセミナーは学校ではなかなか学べない、人生でとても大切なことをレクチャー・実習・チームワークを通して多角的に体験する場でした。

毎日、夕飯後は会館内の二宮尊徳の生家を復元した板張りの体験学習室に車座になっての語り合い。そこでは小説家の田口ランディさんがものの見方、考え方について語ってくれたり、講師・スタッフを囲んでのフリートークで情報交換、このメンバーで無人島に行ったらと、どう過ごす？というような話し合いで盛り上がり、短い付き合いなのにまるでひとつの大きな家族になったような一体感と語っておられました。

このセミナーで結局何を具体的に教えたかったかというと、「幸せに生きるということ」「人間関係」「経済的自立」だそうです。高校生に教えたかった「幸せに生きるってこと」。私達はもっともっと幸せに生きることを真剣になるべきと力説していました。

○自分を大切にす

今、自分のためだけの時間って1日にどれくらいありますか？1日20分だけでいいから自分自身のためだけの時間をつくりましょう。そうすると満たされた気持ちになれます。自分をおもてなしする心を持ちましょう。

若い女の子には中野さんこう言っているそうです。「自分のことを大切にす。自分のことをプリンセスだと思っちゃえ」って。なぜなら「私なんかどーせ」と思っている女性には「おまえなんかどーせ」という男性がくつつくから。共鳴・共振の法則だそうです。自分を自分で大切にしていないと、人はあなたをないがしろにします。

否定的な言葉の代表に「3D」というのがあります。「だあ～て」「でも」「どーせ」という言葉です。これはいずれも言い訳や自分を卑下する言葉です。このような言葉をたくさん使っていると、先ほどの共鳴・共振の法則で暗い人間関係になっていき、良い人生を歩めません。対照的に明るい言葉、「楽しい」「うれしい」「ありがとう」「おもしろい」「幸せ」このような言葉をたくさん使っていると、明るい人間関係が出来、良い人生が歩めます。自分達の子供にも、大人が否定的な言葉ばかり言っていると、子供達の世界は大人の世界に比べはるかに狭いので、それが子供の心理に入っていきます。だから子供達にも明るい声を掛けていくのはとても大切なことなのです。

講演のほんの一部を抜粋して完結にまとめてみました。みなさんの参考になれば幸いです。

海老名担当 O君のレポートです。

皆さん、こんにちは。海老名（営）のOといいます。早速、私達が参加している安心・安全パトロールの手助けができたかも、というお話しです。2月22日のことです。いつものようにお客様の自販機に商品を補充していましたら、突然ドーンと物 凄い音がして、何事かと後ろを振り返ると交差点で車と自転車の衝突事故が発生していました。状況は車が右折の際に横断歩道を直進してきた自転車を跳ねてしまったようです。私はすぐさま安心・安全パトロールの事が頭をよぎり実行に移しました。

まず110番通報をして「(株)アークルの〇〇という者です。たった今〇〇の交差点で交通事故が発生しました。」と速やかに 通報し、自転車の方が倒れていたのでマニュアル通りに自転車の方に声をかけました。「大丈夫ですか？」その方はかなり動揺している様子でしたが幸いにも目立った外傷はなく、意識もしっかりとしてました。その後、救急車と警察が現場に到着し 引き継ぎました。

実際に活動をしてみて感じましたが人通りはかなりあったものの、声を掛けてくれる方はいましたが、立ち止まって救護をしてくれる方はいませんでした。私も安心・安全パトロールの話がなければやっていなかったかもしれません。今回、安心・安全パトロール活動を通して少し社会貢献が出来たかな、なんて思ってます。そして今後も、このようなことは、見て見ぬふりせずに、活動していこうと思います。

後で知ったのですがこの事故でかなりの渋滞が出来てラジオの交通情報で流れたようでした。

■コラム

■見頃の梅の写真です。



先月号は1/17に早咲きの一輪の梅の様子でしたが、今回はかなり咲いた様子です。どうですか。素晴らしいでしょ。

この号が届くころはそろそろ桜の季節かも。今年は暖冬で早いですね。

■コラム

■アークルの人達ブログ・絶好調連載中です!

ただいまブログは7名が更新中です。

- ・所長のブログ（小田原H所長）
- ・チーフの給湯室（小田原Mチーフ）
- ・情報最前線（海老名K所長）
- ・促進課目玉オヤヂ（販売促進課Hさん）
- ・促進課オヨヨ
- ・販促課オオクワ80mm
- ・産地直送！新鮮ネタ（海老名Nチーフ） デビュー！！です。

今月は以上です。又、来月号も宜しくお願いします。

■2007年度のマンスリーNEWS

➔	2007.02	アークル マンスリーNEWS
➔	2007.01	アークル マンスリーNEWS

■マンスリーNEWS アーカイブ

➔	最新	マンスリーNEWSトップページ
➔	2006年度	2006年のマンスリーNEWSアーカイブ
➔	2005年度	2005年のマンスリーNEWSアーカイブ
➔	2004年度	2004年のマンスリーNEWSアーカイブ